

平成27～29年度群馬県教育委員会指定

「ぐんまの子どもたちの体力向上推進事業 体力向上推進モデル校」

# 跳び箱運動「台上前転」 ～ 神明小学校 6年 体育科 器械運動 ～



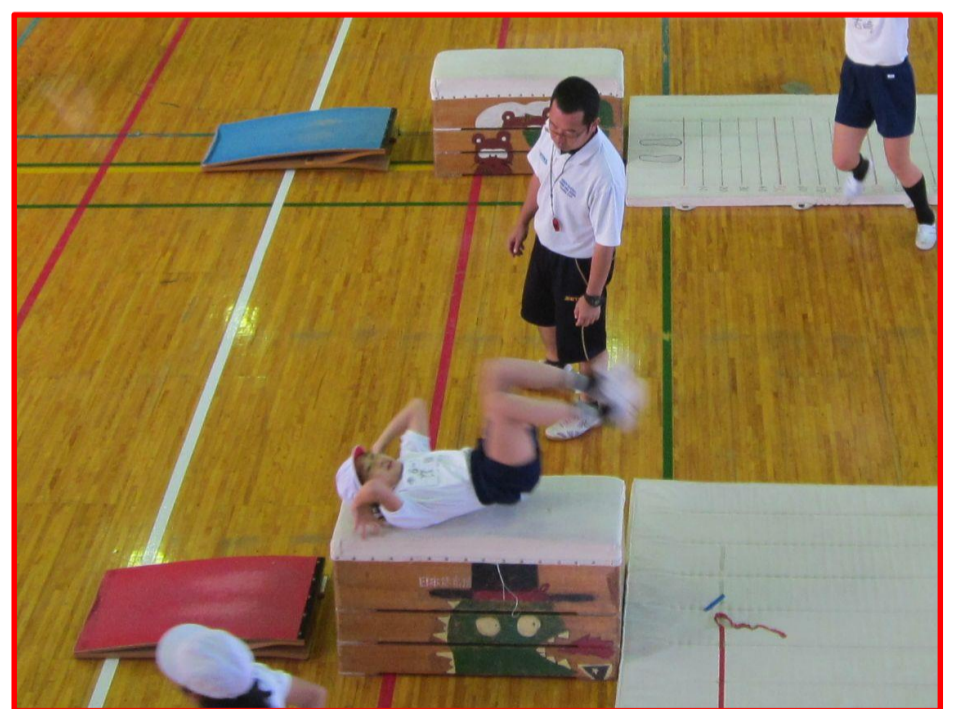
導入では、台上前転をする際に首の傷害を負わないよう丁寧な安全指導をおこなっています。整然と並び、指導者へ顔と体を向けて話を聞く学習習慣がしっかりできている6年生です。



準備運動の次に「かえるの足打ち」をおこない、逆さ感覚と腕支持の力を高めます。導入指導時に感覚づくりをおこなうことで、主運動に繋がる基礎体力を育みます。



台上前転が苦手な子にはスモールステップで、やさしい場から練習していきます。しっかり手を揃えてつき、腰を上げて踏み切るように指導をします。



へそを見ながら回転すると、背中が丸くなりスムーズな回転に繋がります。一人一人に的確なアドバイスを送り、コーディネータとしての役割を果たしています。

平成27年10月27日(火)

指導者：塚本 牧子 教諭(神明小学校)  
井出 昌文 コーディネーター



マットの下に跳び箱の1段目を置いて高さのある前転をおこないます。少しずつ高さに慣れさせていくことで、スモールステップの学習を進めていきます。



高さの異なる跳び箱やロールマットの活用など、児童一人一人のレディネスや課題に応じて場の設定を工夫します。自分に合った学習の場で練習することが上達に繋がります。



ちょっと背中を押してあげ、前転をスムーズにすることで、回転の感覚づくりに繋げていきます。児童の動きを補助する支援も大切にしながら指導を進めています。

学習が進んだ後、上位の児童に対する発展的な課題の指導、中位や下位の児童へのアドバイス、グループ別での指導を担っていただきました。

担任は、コーディネーターの助言を生かして児童の実態に合わせた指導の工夫ができました。一単位時間における活動時間や、単元の時数管理、学習グループ編成、児童の実態に合わせた課題のレベルやルールの設定などを行いました。



6年1組担任 塚本 牧子 先生